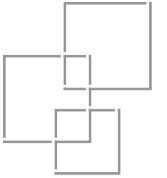


12月定例会では、11月30日と12月1日、2日の3日間にわたり19人の議員が一般質問を行い、太田市政の現状や将来に対する方針などに関して活発な議論を展開しました。紙面の都合により、質問した議員に確認の上、1問を選び、質問と答弁の要旨を紹介します。なお、一般質問の様子は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただくことができます。また、本定例会の正式な会議録は、市政情報コーナーや市立図書館、市議会ホームページ、議会事務局などで、3月下旬からご覧いただけます。詳しいことは、議会事務局(☎0276-47-1806)までお問い合わせください。



脱炭素社会の構築に向けた本市の取り組みについて



公明クラブ 前田 純也

議員 本市では市長が県内の市町村で初めて「2050年脱炭素社会の実現に向けて」を記者会見で表明しました。その中の「地産エネルギーの利用拡大」について伺います。

産業環境部長 電力の地産地消として(株)おた電力が市内の固定価格買取制度満了者(卒FIT者)から余剰電力を買い取り、その電力を市内の公共施設等に提供しています。今後、協力できる公共施設を拡大していきたいと考えます。

議員 今後、庁舎内の照明を全てLED化する等、さらなる省エネに取り組むべきと考えますが、所見を伺います。



総務部長 本庁舎のLED化率は今年

度末で12.9%となる予定ですが、将来的にはほとんどの照明をLED化する計画です。これにより、昨年度における本庁舎のCO₂排出量の約17%に相当する量を削減でき、高い効果が見込まれます。

議員 2050年脱炭素社会の実現という目標達成に向けた今後の取り組みについて、市長の所見を伺います。

市長 22年前の本庁舎建設時、南面のガラスに太陽光発電の機能を持たせたことが本市のカーボンニュートラルのスタートです。おた電力卒FIT電気買取サービスを始め、将来は本庁舎の電気や空調も地産地消で賄いたいと思っています。また、水素をエネルギーとして使う研究を進めている(株)澤藤電機と協力するなど本市としての形をつくり、国と歩調を合わせて目標に早く到達できるよう頑張りたいと思います。

■その他の質問

・ごみ搬入量の現状と今後の諸課題について



本市の治水対策事業の推進について



創政クラブ 高木 きよし

議員 今年度、国土交通省とダム関係機関とで利根川水系治水協定が締結されましたが、その概要を伺います。

総務部長 既存の利水ダムを治水対策にも活用するものです。具体的には、洪水が予測される場合にあらかじめダムの貯水を放流して水位を下げおき、大雨時に水をダムにためることで、下流の流量を減らして災害を防ぎます。

議員 本市の洪水対策における治水協定の活用について所見を伺います。



総務部長 利根川や渡良瀬川の水位の上昇は市内の中小河川に大きな影響を及ぼすため、水位状況を的確に把握することが最重要です。減災対策協議会で策定された河川のタイムライン等を活用し、対策

していきたいと思います。

議員 早川堤防のかさ上げ工事の計画について伺います。

都市政策部長 現在、早川低水護岸工事を行っており、その完成後の太子橋撤去に向けた工事設計を国と協議しながら実施しています。その後の堤防のかさ上げも早期完成できるよう、国と協議を重ねています。

議員 石田川中流部の粕川町粕川住宅地内では、集中豪雨の際に排水路があふれ、内水氾濫が発生しています。粕川住宅ポンプ施設は老朽化と排水能力不足が疑われ、早急な増強、改修が必要と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 緊急性の高い箇所の一つであり、整備が必要と感じますが、河川や治水は県が主体の事業となりますので、県に積極的に働き掛けたいと思います。

■その他の質問

・都市計画道路の整備の推進について



コミュニティFM放送の難聴解消について



創政クラブ 板橋 明

議員 エフエム太郎の難聴地域となっている毛里田・尾島地区に中継局をつくる計画がありますが、現状と今後の見通しについて伺います。

企画部長 両地区への中継局を設置する場合、1カ所当たり約3,000万円の設置費用と、年間約180万円の維持費が必要となります。過日、総務省関東総合通信局に相談したところ、仮に中継局を設置しても全ての難聴が解消される保証はなく、新たな難聴地域を生む可能性もあるとの指摘を受けました。

議員 FM放送が聴き取りづらい場合の対策として、屋外にFM専用アンテナを設置する費用について伺います。

企画部長 アンテナの設置は難聴地域に個別に対応できる有効な手段の一つです。費用については各家庭の状況によりますが、アンテナ代が約5,000円、それに加えて工賃が必要となります。

議員 FM放送は地域のライフラインです。聴く環境が阻害されたままで良い

のか、市長の所見を伺います。

市長 良いとは思っていません。



議員 毛里田・尾島地区でアンテナ設置を希望する世帯に、設置費用の2分の1を補助すること等を英断すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 アンテナを設置すれば希望する人が確実に聴くことができるようになりますので、議員の提案を真摯に受け止めて検討し、総体的に難聴地域がないようにしていきたいと思っています。

■その他の質問

・入札契約について
・行政手続の押印廃止と起案決裁の改善について



性的少数者への支援について



公明クラブ 高橋 えみ

議員 自治体がパートナーシップ制度を導入した際の、当事者にとってのメリット、デメリットを伺います。

市民生活部長 メリットは同性のパートナーが家族として自治体のサービスが受けられること、デメリットは認定した自治体から転出するとその効力が失われることが挙げられます。

議員 学校現場における性的少数者からの相談の現状と対応を伺います。

教育長 性の多様性に関して学校へ相談した子どもは、今年度、小学生で2人、中学生で14人いました。中学校の例では、性別違和がある生徒と教員が制服の着用等について一緒に考える等、子どもに寄り添った対応をしています。

議員 性的少数者に対する市長の認識について伺います。

市長 どんな分野でも、少数派というのはその他大勢と捉えられてしまい、それが基本的人権を侵していることに多数派の人たちはなかなか気づきません。最終

的には基本的人権の問題であり、差別が生じることによって個人の意思や能力、個性がゆがめられていくことはあってはならないと思います。



議員 性的少数者はいないのではなく、見えないと言われます。自分らしく生活し、平等に市民サービスを受けられる環境整備が重要です。県は多様な幸福の実現を目指すパートナーシップ証明制度の導入の方針を示しましたが、本市への導入について所見を伺います。

市長 県に同調し、同じ時期に同じような制度をつくりたいと思います。

■その他の質問

・糖尿病性腎症重症化予防について